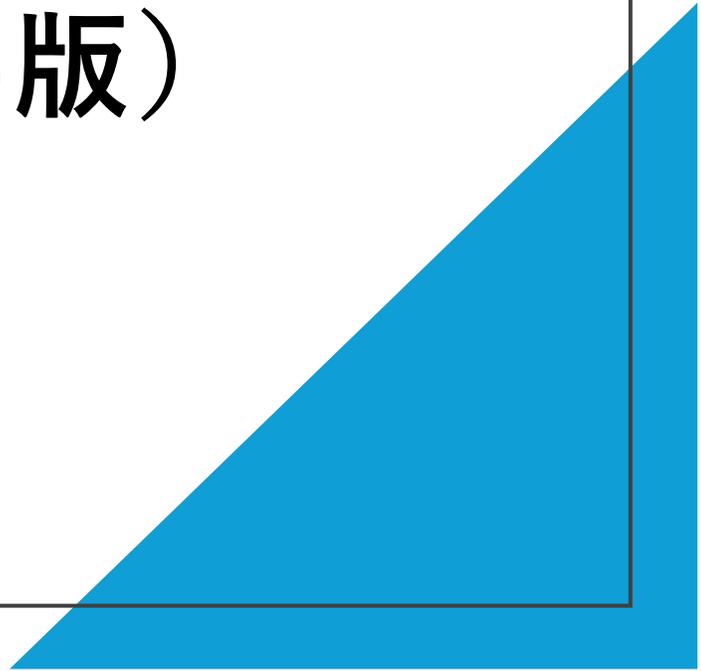


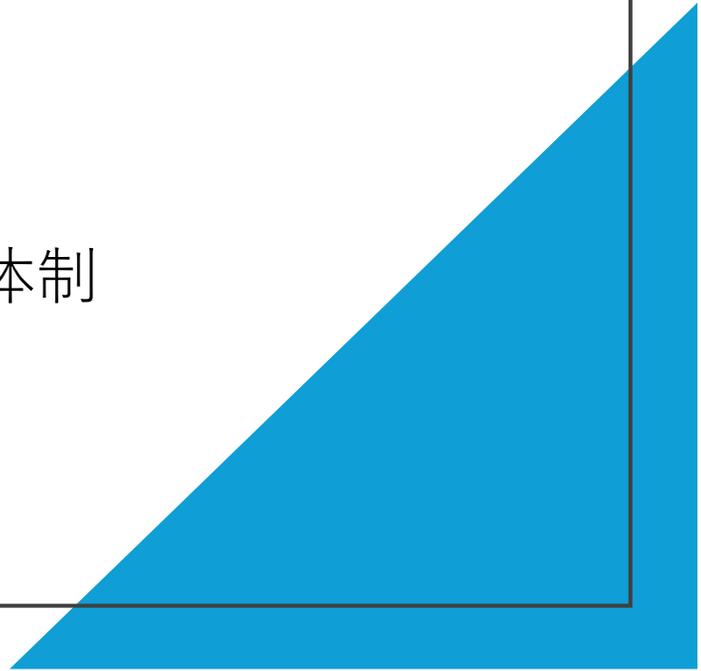
第5次由利本荘市 男女共同参画計画（概要版）

由利本荘市 総合政策課



もくじ

1. 策定の経緯
2. 現状と背景
3. 計画で目指す姿
4. 計画の位置づけ
5. 計画の体系
6. 計画の推進体制



1. 策定の経緯

令和2年3月に策定された第4次由利本荘市男女共同参画計画が**令和7年度末で計画期間を満了**することから、**令和8年度から令和12年度までの**次期計画を策定するもの。

※国および県の男女共同参画計画との整合を図るため、

計画期間を5年とする。

2. 現状と背景

国際的理念に基づき、男女共同参画の取組は進められてきましたが、日本では依然として**固定的な性別役割分担意識**や**無意識の思い込み**が残り、指標の改善は十分とは言えない。

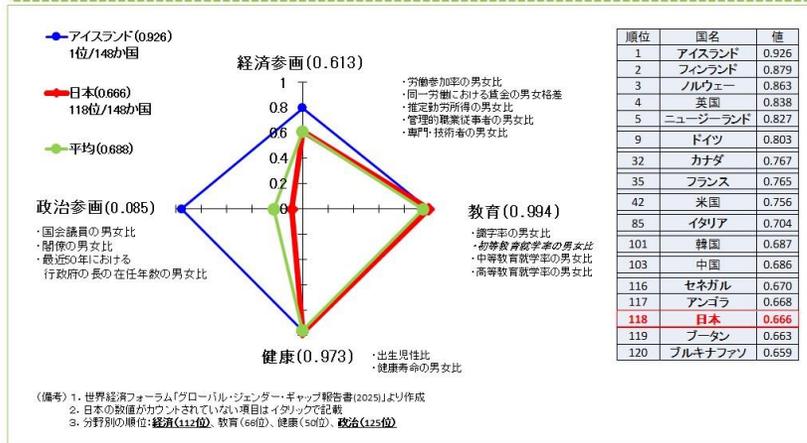
県・市においても女性の就労は進んだ一方、**家事負担の偏り**や**指導的地位に占める女性の割合の低さ**などの課題がみられる。

※第4次計画における「審議会等における女性の割合」目標値30%に対し、令和7年度の割合は23.6%

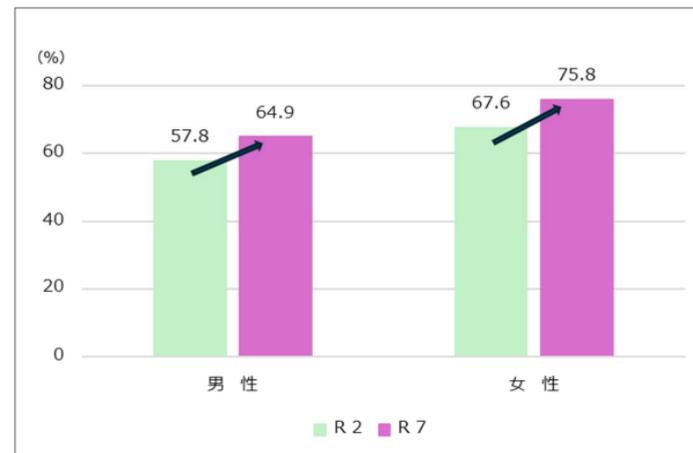
人口減少が進む中、女性や若者の定着・活躍は、**持続可能な地域づくり**に不可欠である。

ジェンダー・ギャップ指数(GGI) 2025年

・スイスの非営利財団「世界経済フォーラム」が公表。男性に対する女性の割合(女性の数値/男性の数値)を示しており、0が完全不平等、1が完全平等となり、1に近いほど順位が高いとされている。
 ・日本は148か国中118位。「教育」と「健康」の値は世界トップクラスだが、「政治」と「経済」の値が低い。



【データ④】「男は仕事、女は家庭」という意識への反対意見の割合の男女別推移

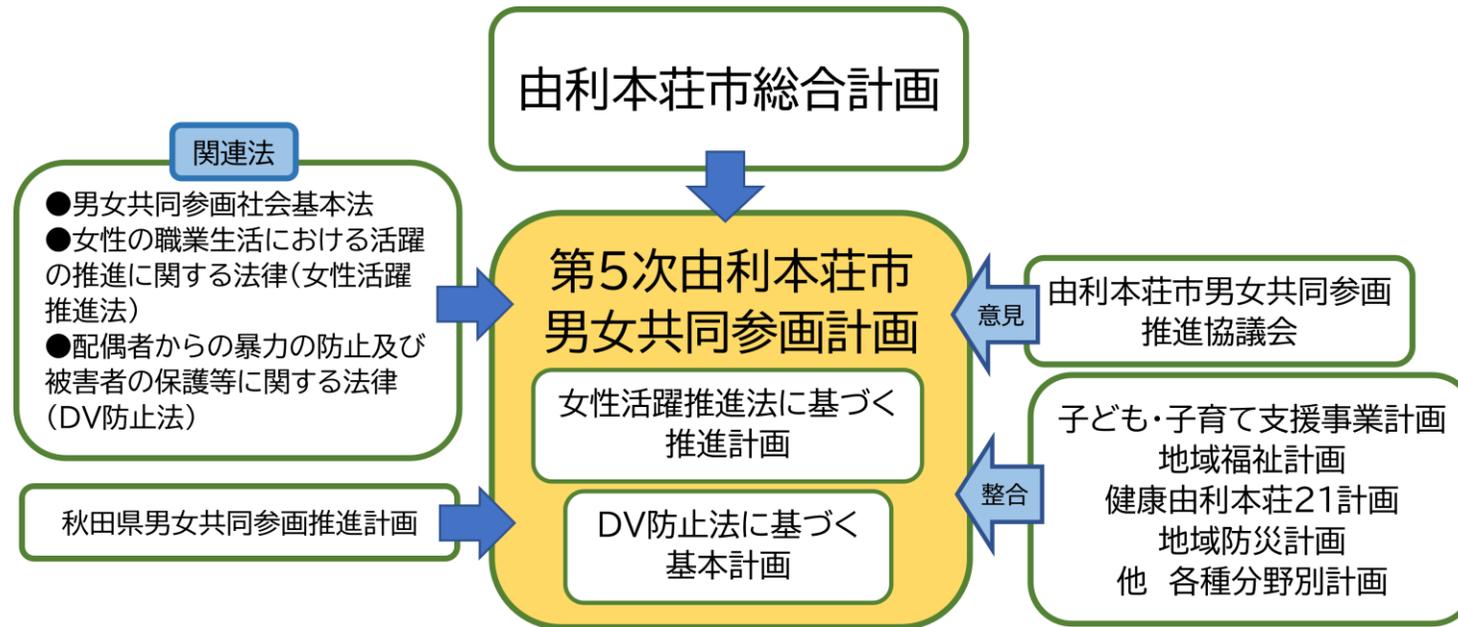


資料出所 県総合政策課「県民意識調査」

3. 計画で目指す姿

- ① すべての人の人権が尊重され、尊厳を持って
個人が生きることのできる社会
- ② 誰もが自らの意思に基づき、性別にかかわらず個性と能力を
十分に発揮できる、公正で多様性に富んだ、活力ある持続可能な社会
- ③ 仕事と生活の調和が図られ、性別に関わらず、すべての人が充実した
職業生活、その他の社会生活、家庭生活を送ることができる社会
- ④ あらゆる分野に男女共同参画・女性活躍の視点を取り込み、
地域内外と協調する社会

4. 計画の位置づけ



- ・ 男女共同参画社会基本法に基づく法定計画
- ・ 市関連計画との整合性を確保

5. 計画の体系

基本目標	Ⅰ 性別にかかわらず誰もが活躍できる環境づくりの推進	Ⅱ 健康で明るく安全・安心な暮らしの実現	Ⅲ 男女共同参画社会の実現に向けた意識醸成と基盤強化
重点目標	<ul style="list-style-type: none">(1) 誰もが活躍し続けられる職場づくりの推進(2) 男女とも活躍できる環境づくりの推進(3) 地域社会における女性の参画拡大	<ul style="list-style-type: none">(1) 性暴力やハラスメント等の根絶(2) ライフステージに応じた健康づくりへの支援(3) 生活上の困難を抱える家庭等に対する支援(4) 男女共同参画の視点に立った防災対策	<ul style="list-style-type: none">(1) 人権の尊重と理解促進(2) 男女共同参画関連団体の連携強化(3) 行政分野における率先した取組の推進

6. 計画の推進体制

(1) 推進体制の整備・充実	庁内ネットワーク体制の充実
(2) 関係機関との連携強化	国や県の政策との協調・整合
(3) 市民の意見を反映した施策の展開	男女共同参画推進協議会の設置
(4) 計画の進行管理	各施策の実施状況や課題の把握
(5) 企業や市民団体との連携の確立	連携を図り、自主的な活動を促進
(6) 情報の収集と提供	家庭・職場・地域での取組を推進